

部局名	生涯学習部	所属名	生涯学習振興課	所属長名	佐藤 正勝	電 話	481-0309
-----	-------	-----	---------	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3960		事務事業名称	やちよふるさとカルタ推進事業					短縮コード	経常	3960	臨時	
予算区分	会計	01	一般会計	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	01	社会教育総務費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他			根拠法令等		社会教育法、八千代市子ども憲章							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
・事業概要 八千代市の自然・歴史・伝統文化・産業などを題材に制作した郷土かるたを、市民に販売・貸出する。 ・事務事業を開始したきっかけ 2001年(平成13年)1月1日の八千代市子ども憲章制定を記念して平成13年度に開始された。かるたの制作は市の公募に応じた市民等による「八千代ふるさとかるた」づくり実行委員会が担当した。初版（1,200部・うち170部は寄贈）が完売となったことから、平成15年度に増刷版（555部）を発行している。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱（章）	02	人間尊重都市をめざして						
平成14年度制作当初、総合的な学習の時間や完全学校週5日制が導入されていたこともあり、学校教育と社会教育の両方の活動でのカルタ利用が増加した時期があったが、その後は横ばい。平成18年度、青少年課の主催でかるた取り大会が開催され、その影響で18年度以降売り上げが増えている。					大項目（節）	02	生涯学習						
					中 項 目	02	社会教育						
					小項目（施策）	01	社会教育活動の推進						
					細 項 目	01	学習活動の充実						
				実施計画の計画事業									
計画事業の位置付けの有無			☐	計画事業期間		～			計画事業費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	・市民 ・市内の子どもに関係する団体・機関（幼稚園・保育園・小学校・学童保育所・子ども会）							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成19年度に実際に行ったこと： 平成15年度に増刷したかるたを教育委員会社会教育課（現・生涯学習部生涯学習振興課）、郷土博物館,文化伝承館の3ヶ所において,1セット1,300円で販売した。 子どもに関係する団体・機関へのかるたの貸出を行った。							
	※平成20年度に計画していること： 平成19年度に引き続き,かるたの販売・貸出を行う。							
意図 （何を狙っているのか）	八千代の自然・歴史・伝統文化・産業などについて楽しみながら学習してもらう。							
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	入力対象外							
区 分				単位	1 8 年 度	1 9 年 度		2 0 年 度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	市人口（3月末現在）	人	186,650	188,600	188,624	190,600	
	指標 2	市世帯数（3月末現在）	世帯	75,675	77,100	77,303	79,300	
	指標 3	市内の子どもに関する団体・機関数	団体	108	109	76	76	
活動指標	指標 1	八千代ふるさとかるた販売数	セット	69	70	61	65	
	指標 2	八千代ふるさとかるた累積販売数	セット	1,320	1,390	1,451	1,516	
	指標 3	八千代ふるさとかるた貸出回数	回	8	10	6	10	
成果指標	指標 1	ふるさとかるた普及率（累積販売数／世帯数）	%	1.7	1.8	1.8	1.9	
	指標 2	貸出用かるた活用率（貸出回数／子ども関係団体数）	%	7	9	8	13	
	指標 3	地域に愛着を感じている人の割合	%	100	100	100	100	
上位成果指標	指標 1							
	指標 2							
	指標 3							

コード	3960	事務事業名称	やちよふるさとカルタ推進事業				所属名	生涯学習振興課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。				☐ 改革・改善して継続		当初目的としていたやちよふるさとカルタの普及は、その目的をほぼ達成できたことから、 今後は社会教育振興事業の中で、評価していくこととする。	
					☐ 手法プロセスの改革・改善			
					☐ 事業規模の拡大・縮小			
					☐ 統合・役割見直し			
	☐ その他							
☒ 廃止								
☐ 休止								
☐ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			郷土への愛着を深める一助となることを期待して利用数の増加を目指していく。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☒	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
貸出後に回収しているアンケートの感想では皆良かったと回答しており、好評である。	

所属長コメント	平成13年1月1日の「子ども憲章制定」記念事業として、カルタを制作し販売や貸出を行っている。遊びを通じて八千代市の文化などについて親しんでもらえるよう今後もPRを行い、販売数, 貸出数を増やしていく。	
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続	担当課の評価のとおり，単独事業として推進していく役割は終了となり，所期目的を達成したといえる。
	☐ 手法プロセスの改革・改善	
	☐ 事業規模の拡大・縮小	
	☐ 統合・役割見直し	
☐ その他		
☒ 廃止		
☐ 休止		
☐ 現状のまま継続		